

今週のメニュー

■トピックス

◇塩ビ食品衛生協議会の53年と今後について

塩ビ食品衛生協議会 常務理事 石動正和

■随想

◇知ってそうで知らないシロアリの話 ⑤

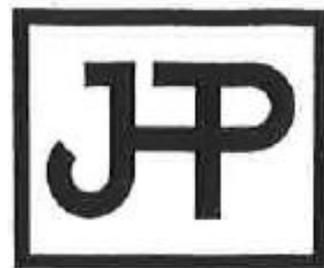
株式会社テオリアハウスクリニック 平 一暁

■トピックス

◇塩ビ食品衛生協議会の53年と今後について

塩ビ食品衛生協議会 常務理事 石動正和

[塩ビ食品衛生協議会](#)（塩食協）は、1967年6月、PVC系食品用器具・容器包装の材料製品の衛生性向上を目的に設立されました。設立から3年後の1970年には厚生省の指導の下「塩化ビニル製食品容器包装に関するポジティブリスト」を制定し、その改訂第3版は1973年7月20日付施行通達において、告示第370号塩化ビニル樹脂製器具・容器包装規格基準のガイダンスに位置づけられました。また1971年より確認証明書制度をスタートさせ、会員が上市する原材料・製品の安全衛生を確認する制度として広く活用されています。



一方塩食協は、この間、塩ビモノマーや各種添加剤の安全性、ダイオキシン問題など様々な問題について、幅広い会員構成を活かし、委員会やプロジェクト活動を通じ対応してきました。現在、安全性についての理解が進みつつあるのも、会員が一体となって取り組んできた努力の賜物と考えます。更に2005年からは、ほぼ隔年ごと開催する国際シンポジウムとそこから得られるネットワークを活用し、塩食協の自主規格制度を広く海外に紹介するとともに、各国の法制度を調査し会員に情報提供することで海外展開をサポートしてきました。

2008年頃より厚生労働省は、海外で普及が進んでいるポジティブリスト（PL）制度について、その導入検討を開始しました。塩食協はこの検討に積極的に協力するとともに、これまで30回を超える会員説明会を通じその進捗状況を全会員と共有してきました。2018年6月PL制度導入を含む改正食品衛生法公布により、業界として新たな組織的対応を行う段階になり、サプライチェーン全体を視野に設立された官民連携推進の会（2018年12月27日発足）、準備委員会（2019年5月31日発足）の活動に主導的に参画するとともに、2020年6月1日PL制度施行と同時に設立された[（一財）化学研究評価機構食品接触材料安全センター](#)の事業活動にも積極的に協同してきました。

2020年12月16日臨時総会での組織決定に基づき、2021年3月31日をもって塩食協は53年に亘る活動を終え、その全事業は上記センターに移管されます。塩ビ系食品用器具・容器包装に使用される原材料の安全衛生は今後国のPL制度で担保されますが、リス

ク評価を経て法的強制力ある PL が確定するまで、市場がスムーズに移行できるようセンターに設けられる新たな組織の中でフォローする計画です。また原材料・製品の確認証明書はそのままセンターに引き継がれ、2021年度内に新たな適合確認書を発給する計画です。更に材料製品の安全衛生情報、海外諸国の法制度の最新情報についても、同じくセンターの新たな組織の中で継続し調査と共有を進める計画ですので、PVC 事業分野に携わる皆様におかれては、一層のご支援、ご協力をお願い致します。

■ 随想

◇知ってそうで知らないシロアリの話 ⑤

株式会社テオリアハウスクリニック 平 一暁

わたくし、(株)テオリアハウスクリニックの平 一暁（たいらかずあき）と申します。弊社は1974年に設立したシロアリの防除会社。「何でシロアリ屋がVECのメールマガジンに寄稿するんだ！」というお叱りの声が聞こえてきそうですが、文字スペースの問題もありますので、ご興味のある方はVECさんのホームページ右上の「メールマガジン」という文字をクリック頂いて、[2019年5月23日配信の①](#)が掲載されたバックナンバーをご覧くださいたら幸いです…（汗）

では今回は、マンションでのシロアリ被害について、お話し致しましょうか…

今の会社に入社して、2年経ったある日…

(株)テオリアハウスクリニックに社名変更する前の、関東白蟻防除株式会社に私が中途入社したのが2003年2月。それから2年経ったある日の事。「室内で羽アリが飛んでいるので早く来てえ〜！」という依頼が会社に入り、私が急行したのです。この、[シロアリの話③](#)でも書きましたが、ヤマトシロアリの羽アリは関東地方では基本的に4月から5月にかけて飛び立つのですが、まさにこの日はゴールデンウィークの真っ只中。当然、シロアリの仕業だろうとは思っていましたが、そうは言ってもまだ駆け出しの2年目。この業界には未経験で入社した私は、基本的な事はようやく対応できるようにはなっていたものの、厄介な案件だったら嫌だなあ…（汗）、と思いつつ現地に向かったのです。

エッッ！このマンション？

とある東京は板橋区の一画。指定された住所の最後は「104号」とあるので、どこのアパートだろうとあちこち探すものの、該当する建物はここしかない…。エッッ！このマンション？坂の上の丘のようになった所に建つマンションを見上げると、それは4階建で各階19世帯、計76世帯が入居する巨大な建物。「コレをまだ経験の浅い自分が担当するの…？（泣）」

逃げ出したい気持ちを抑えつつ、「104号」を訪ねたのです。



マンションでも被害が出た現場を目の当たりにして…

「104号」の奥様は不安そうに「コレってシロアリ？」と尋ねてきます。羽アリが出

てきたという室内中央の柱にあいた穴には、もう出て来ないようにとセロハンテープがあちこちに貼ってありましたが、明らかにシロアリの食害。落ちていた羽アリもまた、シロアリの羽アリ…。普通なら、「では床下に入って、シロアリの侵入経路を特定してきます！」と、勇ましく点検作業に移るのですが、ここはマンション。床下なんてありません。でも、被害がある訳ですから、何らかの対策を考えなければ…。

マンションの場合、重量鉄骨造をコンクリートで区分けしたような造りですから、どんなマンションでも建築主はシロアリ被害なんてあり得ないと、建築時に被害の想定なんてしません。ただ[シロアリの話①](#)にもある通り、シロアリはコンクリートも突破し、室内には木材が使われているので被害に遭う可能性はあるのです。奥様曰く、このマンションは1983年に建ったとの事で、当時で築22年。賃貸ではなく、分譲で購入したとの事。賃貸マンションであれば、駆除施工をオーナーに提案しようかと思っていたのですが、さてどうしようか…。奥様は、「こんな事が起こったら嫌だと思ったからマンションを購入したのに…（泣）。建てた会社がシロアリ被害を想定していないなんて、納得いかない。もちろん駆除費用や補修費用を自分で負担するのも理解できない。まったく腑に落ちない！」との事。1階の他のお宅でも似たような羽アリの話を以前に聞いた気がする、との話も踏まえ、一旦持ち帰り、私は作戦を考える事にしました。



室内中央の柱には羽アリが飛び立った穴が
いくつもあいていた



1階の別の世帯でも室内の柱には被害が…

1階19世帯の全世帯調査を提案すると…

改めて訪問した際、「費用はマンションの管理組合に負担してもらおうようにしましょう。」という提案をさせて頂きました。ただし1世帯だけの不具合では管理組合は動かない。シロアリの駆除や予防の施工が、必然性のある状況に至っている事を証明するためにも、管理組合に1階全世帯の状況調査を提案してみましよう、今度は管理組合の会長さんに交渉して、7月に19世帯の全世帯調査を無料で行う事になったのです。

すると、なんと10世帯でシロアリの被害もしくは被害の兆候がある事が発覚。あるお宅では、「シロアリを出したなんて話がマンションで出回ったら、絶対に非難されると思って…。」と被害が出た事を隠して被害箇所の玄関をリフォームした、との事。またあるお宅では、「柱が腐ったのだと思っていた。まさかマンションでシロアリなんて…。」と驚かれていました。この結果を基に管理組合と交渉を重ね、管理費を使って19世帯のシロアリ予防駆除施工を11月に施す事になったのでした。交渉中には高層階の方々から、「1階に住んでいる人たちの住まい方の悪さがこういう結果を招いたのに、なぜ管理費を

使うんだ！」と反対意見も出ましたが、何度か説明会を行って住まい方が悪かったのではなくシロアリ被害の傾向や諸症状を理解して頂き、また「シロアリにやられたマンション」なんて風評がたったらマンションの評価額にも影響が出るのではないかと心配も出て、ついに施工に至ったのでした。以降、このマンションでは、保証の切れる5年ごとにシロアリの防除施工が行われています。

マンションだからと侮るなかれ

マンションは重量鉄骨造ですから、シロアリの被害が出て建物も倒壊するといった心配はありません。ただ、毎年ゴールデンウィークになると羽アリが出てくるとか、室内の木部がボロボロになっていくなると、耐えられないですよネ。みなさんがお住まいのマンションではいかがですか？実は1階のあるお部屋で、毎年5月に必ず羽アリが飛ぶ、室内の木部がズタズタにむしばまれている・・・な～んて秘話が実はあるのかもしれないヨ・・・。



こんな感じで室内にシロアリの羽アリが湧き出す

■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)

※本メールマガジン上の文書・画像等の無断使用・転載を禁止します。



■ 東京都中央区新川 1-4-1

■ TEL 03-3297-5601 ■ FAX 03-3297-5783

■ URL <http://www.vec.gr.jp> ■ E-MAIL info@vec.gr.jp